2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】
Institution for a Global Society 株式会社

【サービス名】
Ai GROW キャリア教育支援パッケージ

【支援項目】
成績処理 / 生徒指導（集団）/ 生徒指導（個別）

2025年１月

変化する大学入試とその先を見据えた生徒と先生のためのキャリア教育支援

AiGROWキャリア教育支援パッケージ

社会で必要とされる「行動」と「思考」両面の力を２つのアセスメントで客観的に可視化・分析することにより、
生徒の強みや成長、適性に応じた学部・専攻、職種を提案。
キャリア教育にとどまらず、面談や日々の生徒指導の負担軽減に貢献する機能も充実しています。

ビッグデータを基に生徒個々の強みに適した学部・専攻や職種を自動で提案。生徒自ら主体的に進路を選択し、その実現に向けた準備を行えるよう、学年や習熟度に応じた教育コンテンツやワークも提供いたします。

生徒の非認知能力の成長と教育活動の効果を定量化

AiGROW

行動特性であるコンピテンシーを計測するために必要不可欠な相互評価とAIによる評価補正を採用することで、信頼性の高いコンピテンシー評価を実現。

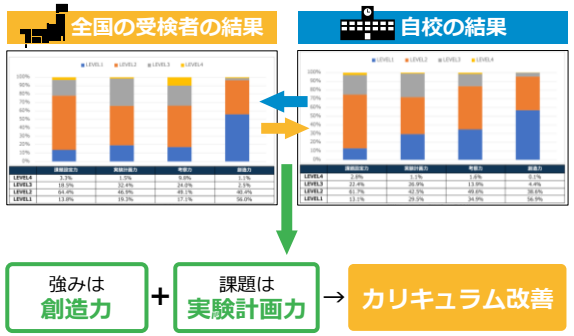
生徒一人ひとりと学級全体の状態の変化もすぐに把握することができ、生徒指導や評価・評定に関わる先生方の時間的・心理的負担の軽減にも貢献します。

課題設定＆解決に関わるスキルを他校と横比較可能な形で評価

数理探究アセスメント

数理科学的なものの見方や考え方と教科での学びを組み合わせながら新たな知や解を創造するための力の成長を定量化。

探究の適切かつ公平な評価の実現だけでなく、探究の評価軸の提供により、既存の探究活動の教育効果の最大化に貢献します。



２つのアセスメントの計測・分析結果から適した学部・学科や職種の他、伸ばすと良い能力、それを伸ばすことで広がる可能性を示すレポートと各能力を効果的に伸ばすワークで、生徒が主体的に進路選択・準備できるようサポート。

① ビッグデータと圧倒的な数の職種から適職を提案
客観的に可視化された強みを生かせる職種を約10,000職種の中から提案。

② 成長した未来の自分を意識することのできる仕掛け
成長することで生まれる可能性も提案することで進路選択の可能性を拡大。

③ 学年や習熟度に応じた自己探究・分析ワーク
段階に応じたワークで説得力と独自性のある志望理由書の作成が可能に。

④ スポットで活用できる多数のキャリア教育コンテンツ
生徒の自己理解を深める多様なコンテンツで変化が進むキャリア教育を支援。

導入実績および事例の紹介

多くの学校・先生方が抱える指導と評価における以下の悩み・課題を解消する。

成績処理における負担

観点別評価のうち主体性の評価は特に難しく、これまで以上に評定に関わる業務に多くの時間を費やさなければならなくなっている。

目指す課題解決

「学力の三要素」に関わる資質・能力とその成長を数値で確認可能に。調査書や指導要録の作成も「所見提案機能」によってその工数を大幅に（約４割）削減するだけでなく、先生方の心理的な負担も軽減する。

個別の生徒指導における負担

学校を取り巻く状況の複雑化と見取らなければならない資質・能力が増す中、生徒を公平に見取り、適切な指導を行う負担が大きい。

目指す課題解決

生徒の資質・能力の成長と学校生活を支える状態の変化を数値で即時把握可能に。成長に応じた面談ナビゲーションにより、負担を軽減しながら成長の促進と自己肯定感の向上につながるアプローチを可能にする。

探究の指導と評価における負担

活動中のさまざまな試行錯誤や成長を見取るには大きな負担が伴うが、効果的かつ公平な評価方法を確立するための検討も進まない。

目指す課題解決

課題設定力や考察力などといった探究に必要な力を高める動画学習コンテンツとアセスメントによって探究を高度化。負担なく適切かつ公平な探究の評価の実現にも貢献することで、探究の一連の負担を軽減する。

キャリア教育における負担

これまでのノウハウが通用しなくなり、志望理由書の作成から提出に関わる指導に加え、推薦書の作成に膨大な時間がかかっている 。

目指す課題解決

自身の特性や強みを生かせる進路の提案と志望理由書の作成を支援するワークによって、生徒は進路選択と進路実現に向けた準備を主体的に行えるように。「所見提案機能」によって推薦書作成の負担も軽減する。

導入実績および事例の紹介

全国60校 29,313名の生徒に弊社サービスを活用いただき、本補助事業を実施した。

都道府県	設置者名	区分	学校名	利用学年	利用生徒数
北海道	北海道教育委員会	公立	北海道弟子屈高等学校	1,2,3	62
	札幌市教育委員会	公立	札幌市立宮の森中学校	1,2,3	279
	上富良野町教育委員会	公立	上富良野町立上富良野小学校	4,5,6	153
			上富良野町立上富良野西小学校	4,5,6	54
			上富良野町立東中小学校	4,5,6	12
			上富良野町立上富良野中学校	1,2,3	256
	学校法人白樺学園	私立	白樺学園高等学校	1,2,3	429
茨城県	茨城県教育委員会	公立	茨城県立境高等学校	1,2,3	689
	学校法人常総学院	私立	常総学院高等学校	1,2,3	461
栃木県	学校法人佐野日本大学学園	私立	佐野日本大学中等教育学校（前期）	1,2,3	176
			佐野日本大学中等教育学校（後期）	1,2,3	176
群馬県	群馬県教育委員会	公立	群馬県立前橋東高等学校	1,2,3	640
埼玉県	所沢市教育委員会	公立	所沢市立山口小学校	4,5,6	272
			所沢市立東中学校	1,2,3	494
千葉県	千葉県教育委員会	公立	千葉県立柏の葉高等学校	1	280
東京都	東京都教育委員会	公立	東京都立多摩科学技術高等学校	1,2,3	630
			東京都立立川高等学校	1,2,3	963
			東京都立王子総合高等学校	1,2,3	705
	練馬区教育委員会	公立	練馬区立南が丘中学校	1,2,3	286
	学校法人東海大学	私立	東海大学付属高輪台高等学校	1,2,3	1,362

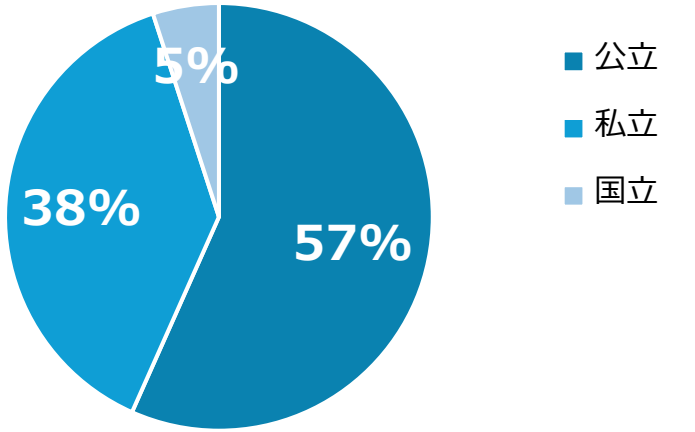
都道府県	設置者名	区分	学校名	利用学年	利用生徒数
東京都	学校法人菅生学園	私立	東海大学菅生高等学校	1	350
			東海大学菅生高等学校中等部	1	77
	学校法人渡辺学園	私立	東京家政大学附属女子高等学校	1,2,3	670
	学校法人田村学園	私立	多摩大学目黒中学校	1,2,3	344
神奈川県	横浜市教育委員会	公立	横浜市立横浜商業高等学校	1,2,3	111
	学校法人鎌倉学園	私立	鎌倉学園中学校	1,2,3	517
	学校法人藤嶺学園	私立	鵠沼高等学校	1,2,3	718
	学校法人湘南学院	私立	湘南学院高等学校	1,2,3	1,408
新潟県	新潟県教育委員会	公立	新潟県立六日町高等学校	1,2,3	578
			新潟県立長岡商業高等学校	1,2	310
福井県	学校法人福井仁愛学園	私立	仁愛女子高等学校	1,2,3	999
長野県	長野県教育委員会	公立	長野県野沢北高等学校	1,2,3	594
			長野県野沢南高等学校	1,2,3	551
	学校法人五島育英会	私立	東京都市大学塩尻高等学校	2	23
愛知県	学校法人椙山女学園	私立	椙山女学園高等学校	1,2,3	1,061
三重県	三重県教育委員会	公立	三重県立上野高等学校	1,2,3	757
滋賀県	学校法人ヴォーリズ学園	私立	近江兄弟社高等学校	1	200
京都府	京都府教育委員会	公立	京都府立南陽高等学校附属中学校	1,2,3	119
	学校法人京都西山学園	私立	京都西山高等学校	1,2,3	659
	学校法人京都外国語大学	私立	京都外大西高等学校	1,2,3	880

導入実績および事例の紹介

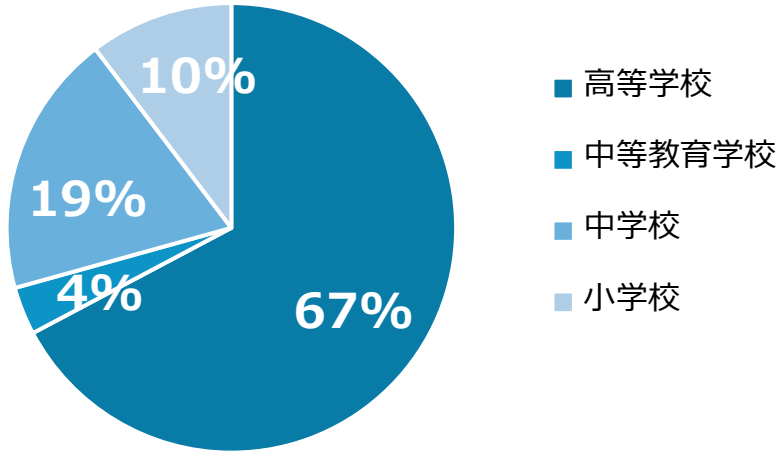
全国60校 29,313名の生徒に弊社サービスを活用いただき、本補助事業を実施した。

都道府県	設置者名	区分	学校名	利用学年	利用生徒数
大阪府	大阪府教育委員会	公立	大阪府立佐野工科高等学校	1,2,3	586
	国立大学法人大阪教育大学	国立	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	1,2,3	467
	学校法人大阪学院大学	私立	大阪学院大学高等学校	1,2,3	1,699
兵庫県	西宮市教育委員会	公立	西宮市立西宮東高等学校	1	280
	国立大学法人神戸大学	国立	神戸大学附属中等教育学校（前期）	1,2,3	363
			神戸大学附属中等教育学校（後期）	1,2,3	349
岡山県	岡山県教育委員会	公立	岡山県立倉敷南高等学校	1,2,3	952
	岡山市教育委員会	公立	岡山市立操南中学校	3	288
	玉野市教育委員会	公立	玉野市立荘内中学校	1,2,3	356
	学校法人森教育学園	私立	岡山学芸館高等学校	1,2,3	1,338
	学校法人三木学園	私立	岡山白陵中学校	1,2,3	407
	学校法人淳和学園	私立	蒼明学院中等部	1,2,3	77
山口県	山口県教育委員会	公立	山口県立防府高等学校	1,2,3	827
			山口県立周防大島高等学校 安下庄校舎	1,2,3	204
徳島県	徳島県教育委員会	公立	徳島県立城南高等学校	1,2,3	842
香川県	香川県教育委員会	公立	香川県立高松商業高等学校	1,2,3	111
長崎県	東彼杵町教育委員会	公立	東彼杵町立彼杵小学校	4,5,6	118
			東彼杵町立千綿小学校	4,5,6	52
			東彼杵町立東彼杵中学校	1,2,3	170
	学校法人長崎南山学園	私立	長崎南山高等学校	1,2,3	522

■ 申請校の区分別割合１（設置区分）



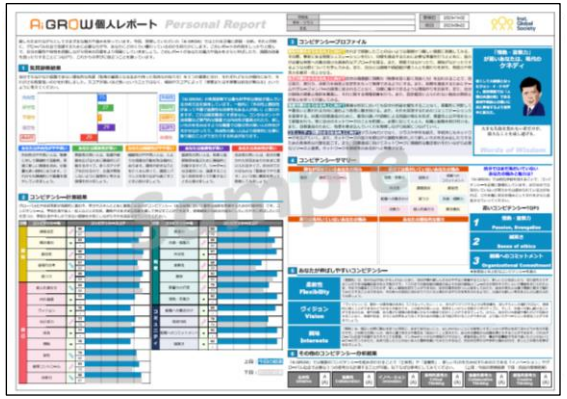
■申請校の区分別割合２（学校区分）



CASE 1　練馬区立南が丘中学校（東京都）

キャリア教育（自身の強みを生かし生涯学習を行う人材の育成）の研究校として、負担を増やすことなく研究事業の効果を測定できる評価指標・ツールを探していた。

- 生徒一人ひとりが生涯学習に必要な能力やその能力に関する自分の強みを見つけることができ、生徒の自己肯定感の向上にもつながった。
- 「Ai GROW」は年度内に何度でも受検・計測が可能なため、行事など個別具体の教育活動による生徒の成長も多面的に把握することができた。
- 「Ai GROW」のデータを基に、「総合的な学習の時間」や学級活動とキャリア教育を有機的に結び付けるための協議を具体的に行えた。
- 研究校として報告書を作成する際も、自前でアンケートの作成・集計・分析を行わずとも効果を示す客観的なデータを活用することができた。
- 保護者との面談では事前準備の負担なく生徒の成長や強みを共有することができ、保護者の納得度・信頼度を高めることができた。



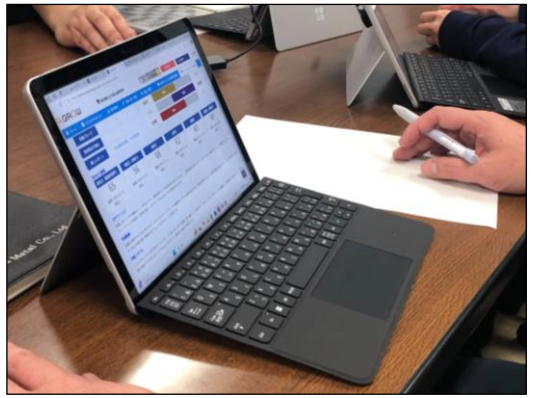
◀（写真左・中央）
校内研修の様子。

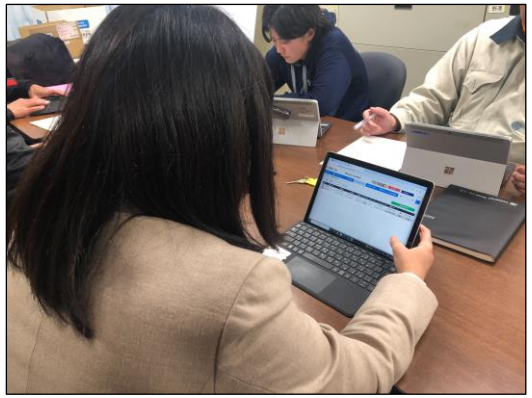
◀（写真右）
面談の際に生徒や保護者との対話ツールとして活用した「Ai GROW」の個人レポート（サンプル）。

CASE 2　東京都立王子総合高等学校（東京都）

生徒との面談や進路相談などの準備に多くの時間を要していた。
これら業務の効率化を図りながら、生徒の見取りの強化につながるツールを探していた。

- 「Ai GROW」の受検によって、「学力の三要素」に関わる資質・能力の成長を負担なく客観的に確認することができた。
- 「Ai GROW」の受検結果を基に、事前準備にかかる工数を削減しながら生徒の多面的な成長について面談でフィードバックすることができた。
- 「Ai GROW」の管理画面で自己評価と相互評価の乖離を確認することで、自己肯定感・自己効力感の向上につながる声掛けができた。
- グループワークの際、生徒の特性・能力データを基に提案されるグルーピング機能を活用することで、活動の効果を高めることができた。
- 「所見提案機能」によって、生徒の成長に即した所見を負担なく指導要録に記載でき、負担軽減だけでなく客観性も担保できるようになった。





◀クラスの生徒の特性や成長をデータを確認する学年会議の様子。

CASE 3　鵠沼高等学校（神奈川県）

「総合的な探究の時間」の評価とともに、学校行事や部活動における生徒指導が課題。この課題を解決しながら生徒の成長促進につながるツールを探していた。

- 各学年で進めている探究プログラムについて、「Ai GROW」のコンピテンシー評価の結果からその教育効果を負担なく把握することができた。
- 「総合的な探究の時間」の評価はもちろん、大きな負担になっていた調査書や指導要録の作成など、成績処理に関わる業務の負担が軽減した。
- 担任は生徒個々人とクラスだけでなく学年の能力傾向も把握。クラスマネジメントを加速させる客観的な指標を獲得することができた。
- 学校で注力している行事や部活動の教育効果を確認できただけでなく、活動中の生徒指導にも生きるデータを獲得・活用することができた。
- 評価データから生徒それぞれの強みや成長を負担なく多面的に確認できるため、キャリア教育や進路指導における生徒支援の幅が広がった。

◀アセスメントの結果から見えた学年やクラスの傾向を確認する校内研修会の様子。

CASE 4　湘南学院高等学校（神奈川県）

生徒数が多く、生徒の強みを公平に見取りながら適切な指導を行うには負担が大きい。生徒の成長をバイアスに左右されず多面的に見取れる外部指標を探していた。

- 「Ai GROW」と「数理探究アセスメント」によって、各学年すべての生徒の特性とともに資質・能力の成長を客観的に把握することができた。
- 生徒一人ひとりの強みと課題を具体的に確認できるようになり、事前準備に時間をかけることなく、面談の質を向上させることができた。
- これまでフィードバックしたくてもできていなかった従来の学力以外の強みについて、その成長につながるアドバイスができるようになった。
- 「所見提案機能」によって、後ろ盾を得ながら生徒の実態に即した所見を負担なく指導要録などにまとめることができた。
- 生徒の成長や日頃の教育活動の教育効果を数値で具体的に確認できるようになったことで、教員間で情報共有・交換がしやすくなった。

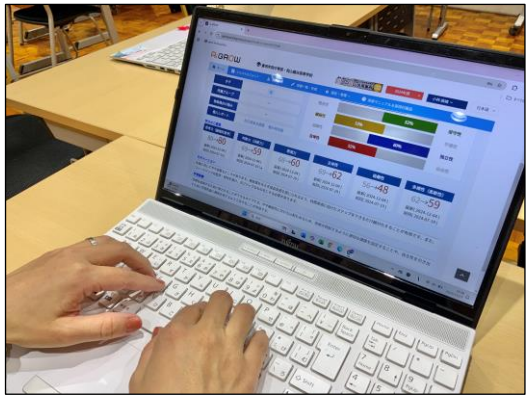
◀（写真左・中央）
データを基に提案される効果的な声掛け例などを参考に生徒との面談を実施する様子。

◀（写真右）
担任と副担任の先生がデータを実感値と照らし合わせながら議論する様子。

CASE 5　蒼明学院中等部（岡山県）

観点別評価や「総合的な学習（探究）の時間」の評価が課題。負担を増やすことなく、評価における課題の解決と生徒の成長につながるツールを探していた。

- 「Ai GROW」によって、グラデュエーション・ポリシーに関わる資質・能力の成長を客観的に数値で確認できるようになった。
- 面談や生徒指導などでのデータ活用の可能性について、実感値と生徒の特性と成長データを照らし合わせながら議論することができた。
- 客観的なデータを基に、探究や学校行事などといった教育プログラムの課題を整理し、改善に向けた方策を具体的に検討することができた。
- 生徒との面談や保護者との懇談の際、成績表には表し切れない生徒の一面や強みを負担なく伝えることができるようになった。
- 教員の目に生徒の特性とコンピテンシーの成長データを組み合わせることで、エビデンス・ベースでの指導・評価が可能になった。



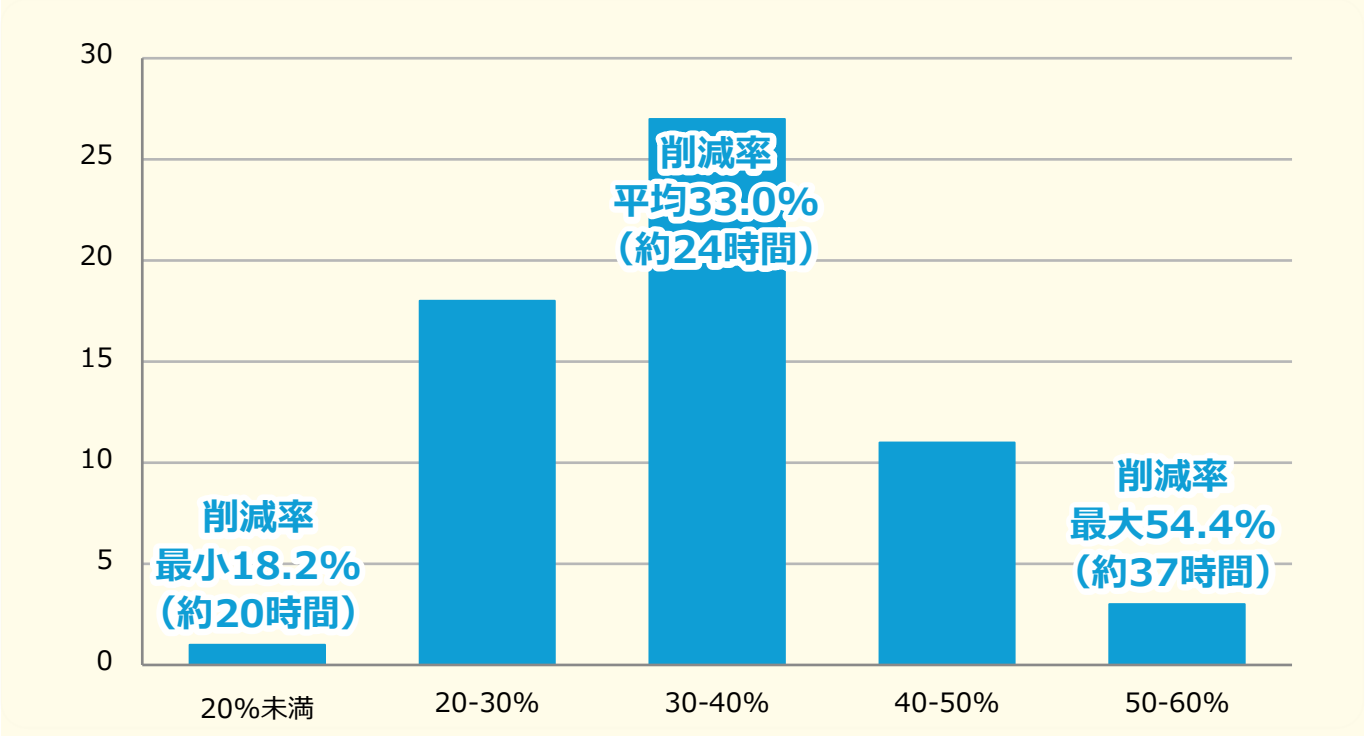
◀担当学年・生徒のデータを確認しながら、今後の指導と評価での活用について検討する情報交換会の様子。

■ 先生方の働き方改革への貢献

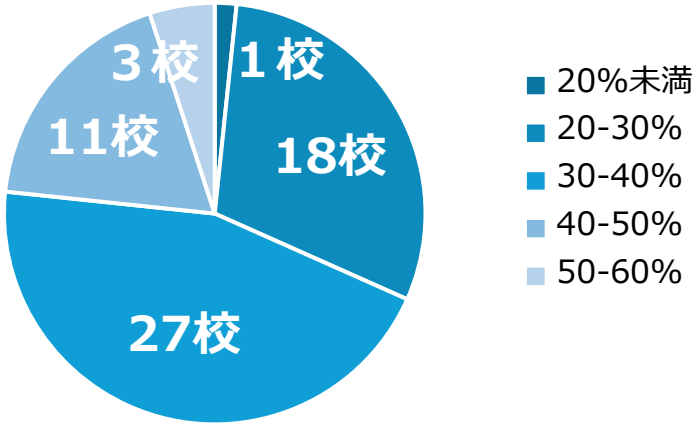
- すべての申請校が弊社のサービスを活用することによる業務の効率化（＝働き方改革への貢献可能性）を実感。
- 全申請校の年間業務時間の平均削減率は33.0%（最大54.4%）。約24時間（最大58時間）の業務時間の削減に貢献。
- 特に成績処理については、30人日（＝約1.5カ月分）の業務削減効果の可能性も確認することができた。

年間業務時間の削減率分布（実績報告より）

有効回答数：60件



■ 業務削減率別学校数



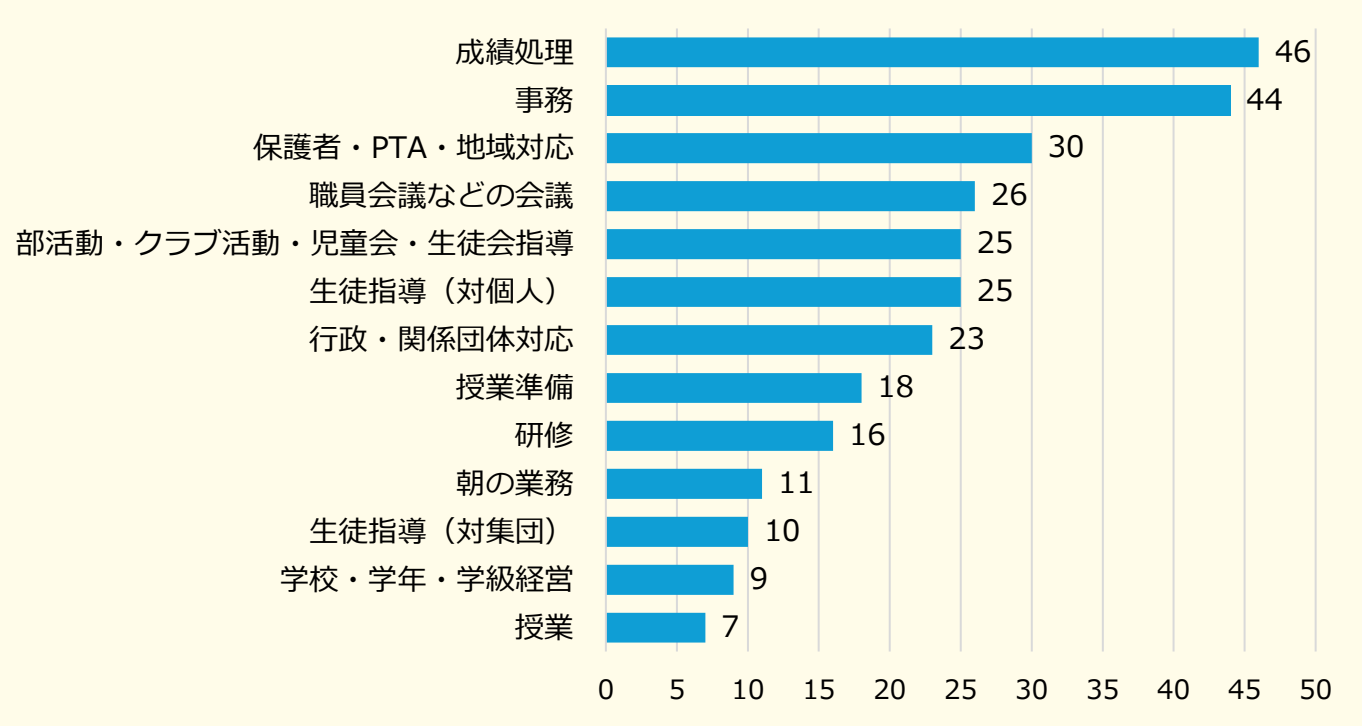
出展：「働き方改革支援補助金2024 導入効果報告」（ ① 対象：申請校60校の先生　② 有効回答数：60件（回答率 100%）　③ 実施時期：2024年12月９日～2024年12月23日　④ 実施方法：オンライン等によるヒアリング ）

■ 特に効率化・省力化が期待される業務

- 特に負担を感じる業務は「成績処理」。申請校の79.3%の先生が省力化を図りたい業務に「成績処理」を挙げられた。
- 「成績処理」「事務」「保護者対応」「職員会議」「部活動指導」「個別生徒指導」業務の負担軽減が特に求められる。
- 「生徒と直接向き合う教育の本質に関わる時間を増やしたい」「授業準備や自己研鑽に時間を充てたい」という理由も多数。

特に負担を感じ、省力化を図りたい業務（５つ選択可）

有効回答数：290件



負担を感じる理由

有効回答数：58件

【成績処理】
- 教員個々に任されているがゆえにミスや齟齬が生じやすい。
- 教員同士の目線合わせができておらず課題を感じている。
- 観点別評価になってから、業務の負担が格段に増したため。

【事務】
- データ処理は教員に求められる専門技能とは異なるため。
- 設置者は学校の自走を奨励し、伴走的支援にシフトすべき。
- 稀に教員の業務ではないと感じる。仕事量に偏りを感じる。

【保護者対応】
- 保護者の価値観やニーズが多様化しているため。
- 発展的な話し合いを行うのが難しい一方、絶対に必要なため。
- 突発的かつかなりの時間を取られることが多いため。

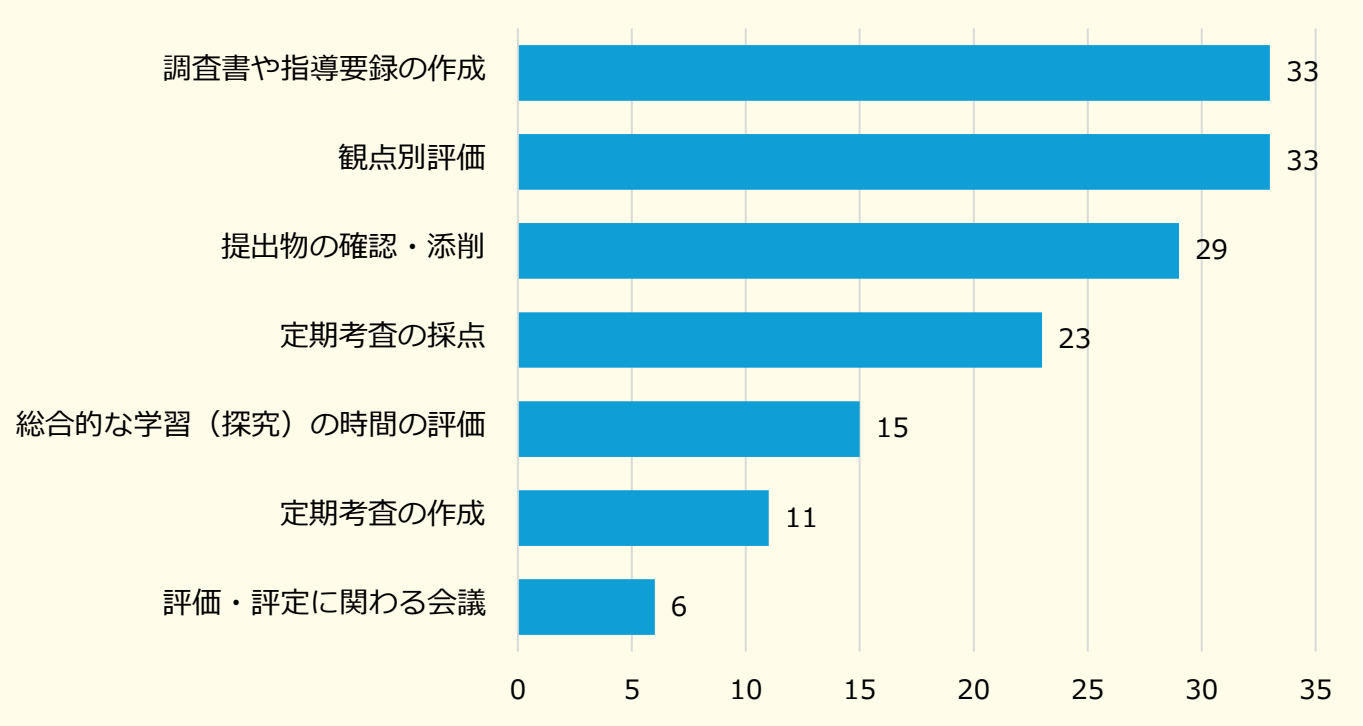
出展：「働き方改革支援補助金2024」に関するアンケート（ ① 対象：申請校60校の先生　② 有効回答数：58件（回答率 96.7%）　③ 実施時期：2024年12月９日～2024年12月23日　④ 実施方法： Google Forms ）

■ 成績処理に関する業務で特に効率化・省力化が期待される業務

- **特に負担を感じる業務は「調査書や指導要録の作成」と「観点別評価」。この２つの業務で全回答の44.0%を占める。**
- **観点別評価と年内入試の拡大は学習者の可能性を広げる一方、先生の業務量の増大につながっていることが示唆される。**
- **改善を検討する学校は多いものの、「総合的な学習（探究）の時間」の評価は各校で「型」ができ、安定運用されている。**

成績処理で特に負担を感じる業務（３つ選択可）

有効回答数：150件



負担を感じる理由

有効回答数：58件

【調査書や指導要録の作成】
- 記入すべき項目が増える一方、削られる要素がほとんどない。
- 年内入試を希望する生徒が増え、推薦書作成に追われている。
- 生徒が書く志望理由書と推薦書の内容を揃えるのが大変。

【観点別評価】
- 特に重要な評定に関わるものの、一教員に委ねられている。
- 見取りの方法が確立されておらず、精神的な負担も大きい。
- 定期考査の結果（学力）に左右され、効果より負担が大きい。

【提出物の確認・添削】
- 記述問題を増やしたいが、採点時間が長くなってしまう。
- 年々課題が増え、それに比例して添削業務も増えている。
- 回答からは多くの気付きは得られるが、評価が難しい。

出展：「働き方改革支援補助金2024」に関するアンケート（ ① 対象：申請校60校の先生　② 有効回答数：58件（回答率 96.7%）　③ 実施時期：2024年12月９日～2024年12月23日　④ 実施方法： Google Forms ）

■ 推薦書の作成支援

年内入試で大学進学を希望する生徒が増える中、「学年の９割が年内入試で大学進学を目指す」という申請校も少なくなかった。現行のサービスとサポートでは、先生方の大きな負担になっている推薦書の作成に対する抜本的な支援が困難。

「Ai GROW」専用の推薦書生成支援 My GPT を開発・実装

生徒の個人情報を外したうえで受検結果のローデータを読み込ませ、推薦する大学や生徒に関する必要な情報を入力するだけで、生徒の強みと学習歴、大学が求める人物像とをリンクさせた推薦書を負担なく作成できるようにする。

■ 探究カリキュラムと指導案の作成支援

探究カリキュラムの見直しを進めるまたは検討する申請校は少なくない。「Ai GROW」キャリア教育支援パッケージによって探究プログラムの効果と課題を把握できたことに評価をいただいたが、カリキュラムの改善に資する具体的支援には課題が残る。

生徒の成長データに基づく探究の年間カリキュラムと各コマの指導案を提案・提供

「Ai GROW」「数理探究アセスメント」の受検結果を読み込ませ、探究のテーマや年間のコマ数などといった情報を入力するだけで、育成目的に応じたエビデンス・ベースの探究カリキュラムを負担なく作成できるようにする。

その他、志望理由書の作成を支援する生徒向けのキャリア教育講座（ワークショップ）の提供、生徒の成長データを探究だけでなく、既存の学校行事の改善にも生かせるよう、アセスメントをベースにした学校・先生・生徒へのご支援を拡充していきます。

■ 先生の変化

申請校の先生方にご協力いただいたアンケートの結果から、「先生の変化」に関して以下のような傾向が見られた。

- **教育データの活用の重要性を理解し、エビデンスに基づく指導やサポートを取り入れる学校・先生が増えてきた。**
- **従来の学力にとどまらない生徒の資質・能力を伸ばすための取り組みを重視する姿勢が目立つ。**

・ データの活用の大切さを知り、データを活用した指導をする教員も出てきた。（公立 高校）
・ 分析データから目の前の生徒への指導や関わり方を考える力、またそれを行う力が意識化され伸長した。（公立 中学校）
・ 教員自身が自他の非認知能力に対するアンテナが鋭くなった。（公立 中学校）

などの言及から、先生方の**実践（働き方）にも貢献**できていることを確認。

■ 生徒の変化

申請校の先生方にご協力いただいたアンケートの結果から、「生徒の変化」に関して以下のような傾向が見られた。

- **相互評価の結果から自己理解が進みメタ認知が向上。強みの客観的な把握により自己肯定感の向上にも貢献できた。**
- **自らの資質・能力と強みの客観的な把握は、自己の成長を支える能動的な行動を促すことに貢献する。**

・ 自己分析や相互分析に真剣に取り組んでいる。それが進路選択にも少なからず影響していると感じている。（私立 高校）
・ 自らの強みに気付くだけでなく、成長のために能動的に働き掛ける意識・アクションが改善された。（公立 中学校）

など、相互評価によるデータが生徒の**メタ認知の向上と自己成長を促進する姿勢に貢献**したことを確認。

出展：「働き方改革支援補助金2024」に関するアンケート（ ① 対象：申請校60校の先生　② 有効回答数：58件（回答率 96.7%）　③ 実施時期：2024年12月９日～2024年12月23日　④ 実施方法： Google Forms ）

■ 申請校の変化傾向（学校区分別）

申請校の先生方にご協力いただいたアンケートの結果から、「先生の変化」に関して以下のような傾向が見られた。

- **小・中学校よりも高等学校の先生の方が業務の負担軽減を実感（または期待できると回答）。**
- **高等学校では申請校の92.1%が「調査書や指導要録の作成」に関わる業務の負担軽減を実感。**

・所見提案機能には大変期待している。高校３年次の推薦書作成にも使える機能ではないかと考えている。（公立 高校）
・所見記述欄の具体的な記載に役立ち、負担の軽減だけでなく、生徒当人にとって有益な記載ができる。（公立 高校）

- **小学校では成績処理よりも「日頃の生徒指導」に関わる業務の負担軽減を実感された学校が多数（62.5%）。**

・データを基に負担なく児童の特性に応じた指導を心掛けることができる。（公立 小学校）
・グループ編成や日常の観察のための参考材料（データ）として役に立つ。（公立 小学校）

「業務の負担軽減にどのように貢献できそうか」への回答の割合を学校区分別に集計

	学校数	観点別評価	総合的な学習（探究）の時間の評価	調査書や指導要録の作成	日頃の生徒指導	生徒および保護者との面談	キャリア教育（進路指導・相談）
高等学校	38	31.6%	81.6%	92.1%	68.4%	81.6%	81.6%
中学校	9	22.2%	66.7%	77.8%	77.8%	77.8%	66.7%
中等教育学校	3	0.0%	66.7%	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%
小学校	8	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	50.0%	12.5%

出展：「働き方改革支援補助金2024」に関するアンケート（ ① 対象：申請校60校の先生　② 有効回答数：58件（回答率 96.7%）　③ 実施時期：2024年12月９日～2024年12月23日　④ 実施方法： Google Forms ）

■ 成績処理（観点別評価）の負担軽減に関するコメント

- 数値化しにくい資質・能力を数値化してもらえるので、評価と生徒へのフィードバックはもちろん、授業者の授業の振り返りにも用いることができる。（公立 高校）
- 「総合的な探究の時間」の知識・技能以外の評価に使える。主体性の項目に関して特に参考になる。（私立 中学校）
- 「Ai GROW」の結果を生徒同士の客観的な評価と捉え、教員の評価と組み合わせて活用することができる。（私立 中学校）
- 思考力と判断力の観点においては一定の評価ができると感じる。客観的な数値として貢献できる。（公立 高校）
- 評価の信頼性が上がる。「理数探究基礎」「理数探究」の観点別評価において基礎資料（基礎点）にできる。（公立 高校）
- 負担の軽減に加え、評価・評定の信頼性を上げることができる。（公立 高校）

「学力の三要素」に関わる資質・能力の成長を数値で確認可能

学力の三要素

思考力（論理的思考）	判断力（決断力）	表現力	主体性	協働性	多様性（柔軟性）
62→61	53→67	60→61	64→71	62→61	70→68
最新(2024-12-01)	最新(2024-12-01)	最新(2024-12-01)	最新(2024-12-01)	最新(2024-12-01)	最新(2024-12-01)
前回(2024-07-24)	前回(2024-07-24)	前回(2024-07-24)	前回(2024-07-24)	前回(2024-07-24)	前回(2024-07-24)

出展：「働き方改革支援補助金2024」に関するアンケート（ ① 対象：申請校60校の先生　② 有効回答数：58件（回答率 96.7%）　③ 実施時期：2024年12月９日～2024年12月23日　④ 実施方法： Google Forms ）

■ 成績処理（指導要録・調査書・推薦書の作成）の負担軽減に関するコメント

- 定量評価だけでなく定性評価もできるため、文章表記による評価もしやすい。（公立 高校）
- 「Ai GROW」の結果から提案される所見案があれば要録や調査書作成の負担がかなり減ると思う。（私立 高校）
- 気質診断の結果による特性について、指導要録だけでなく私立高校向けの調査書に記載することもできる。（公立 中学校）
- 客観的な評価を基に提案される所見を活用することによって、文を一から作る手間が省ける。（私立 中学校）
- 大変期待している。高校３年次の推薦書作成の負担を軽減するサービスではないかと考えている。（公立 高校）
- 負担の軽減はもちろんだが、何よりも記述欄に生徒当人にとって有益な記載ができる。（公立 高校）
- 教員間で文言の統一が図れ、評価・評定の足並みを揃えられる。（私立 高校）

児童生徒の実態や実際の成長に即した所見を負担なく記載可能

順位	コンピテンシー	所見提案1	所見提案2	所見提案3
1	表現力	効果的な表現方法を理解しそれを実践しているため、自分の意見を相手にしっかりと伝えることができる。	図表や数値なども効果的に用いながら、複雑なことでも相手に分かりやすく説明することができる。	相手の知性と感情の両方に訴え掛けられるため、友人など周囲の人たちの感情を動かすことができる。
2	決断力 ㊟	考えることが複雑で判断に迷うようなことであっても決断を先延ばしにせず、素早く行動に移すことができる。	自分が決めたことに対する責任を感じ、問題が生じてもその問題を解決するために力を尽くすことができる。	困難なことであっても失敗するリスクを想定し、対策を考えた上で失敗を恐れずに挑戦することができる。
3	論理的思考	起こった問題の原因を分析し、複数の原因の中から改善につながる主たる原因を突き止めることができる。	複雑な内容でも、なぜそう主張できるのかの理由を考え、根拠に裏付けされた文章を書くことができる。	グループワークなどで他の意見の矛盾点を正しく理解し、その矛盾点を友人に正確に説明することができる。

出展：「働き方改革支援補助金2024」に関するアンケート（ ① 対象：申請校60校の先生　② 有効回答数：58件（回答率 96.7%）　③ 実施時期：2024年12月９日～2024年12月23日　④ 実施方法： Google Forms ）

■ 生徒指導（対個人・集団）の負担軽減に関するコメント

- 心理的側面や特性と集団における関係性を理解する参考材料となるので、個々に応じた指導が可能になる。（公立 中学）
- 本人だけでなく保護者にも、事前準備の負担なく生徒の意外な一面を共有することができる。（私立 高校）
- 児童の長所などを負担なく客観性をもって保護者にも伝えることができる。（公立 小学校）
- 生徒本人および保護者に対して客観的な指標として成長を示すことができるのはとてもよい。（公立 高校）
- 生徒個々人に自身の良さや今後の伸びしろについて話をすることができ、生徒の支援に使うことができる。（公立 高校）
- IGS社の商品を活用することで余剰の時間が生まれ、日頃の生徒指導に割ける時間を増やすことができる。（公立 高校）
- 相互評価の動向を見ることでクラス内における人間関係も可視化できるため、見落としを軽減できる。（私立 高校）

児童生徒の特性と能力の変化・変容に応じた指導＆面談が可能

特に成長したコンピテンシー

判断力（決断力）	53→67 最新 (2024-12-01) 前回 (2024-07-24)	決断を迫られる場面で、適切なタイミングで責任のある判断をする力が育ってきているようです。決断力にさらなる磨きをかけるために、想定外の問題に直面したときにも、自分の大切にしている価値基準に照らし合わせて責任のある意思決定を行えるよう声かけをしてみましょう。
寛容		自分と異なる意見を持っている相手に対しても、相手の立場を理解し、思いやりをもって接する力が育ってきているようで

特に下降したコンピテンシー

組織への働きかけ	81→72 最新 (2024-12-01) 前回 (2024-07-24)	グループでの活動に際して、周囲のメンバーとの間に前向きな雰囲気を作り出すことに難しさを感じているようです。グループのチームワークを向上させるためには、各メンバーが自分の役割とその重要性を自覚し、意欲的に関わることが重要です。まずはメンバーの間でコミュニケーションを取り、各々の役割を決めて動き出してみるよう声掛けしてみましょう。
影響力の行使		グループでの活動において、リーダーシップを発揮したり、他のメンバーの協力を得ることに難しさを感じているようです。

モチベーション

失敗に対してやや過敏なところがあります。挫折感を与えず成長実感を感じられる
フィードバックは批評・批判を避け、ポジティブなものにする必要があります。

認められることがモチベーションに好影響となるタイプです。周囲からの承認を感
グループワークの際には同質的なグループ構成を選択し、相互に承認し合える学習

学習動機

目標を達成するために努力することができるタイプです。やや継続性に欠ける心配
すために学習内容に興味を持てるよう工夫することが有効です。

学習スタイル

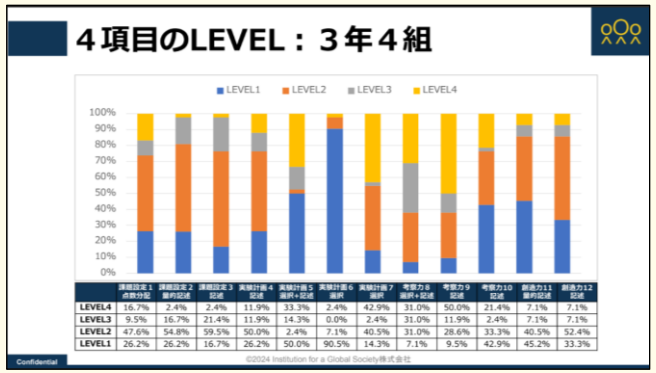
どちらかというと自学自習よりもグループで話し合いながら課題に取り組むことを
容を深めたりするにはどうすればよいのかという観点での助言が有効です。

出展：「働き方改革支援補助金2024」に関するアンケート（ ① 対象：申請校60校の先生　② 有効回答数：58件（回答率 96.7%）　③ 実施時期：2024年12月９日～2024年12月23日　④ 実施方法： Google Forms ）

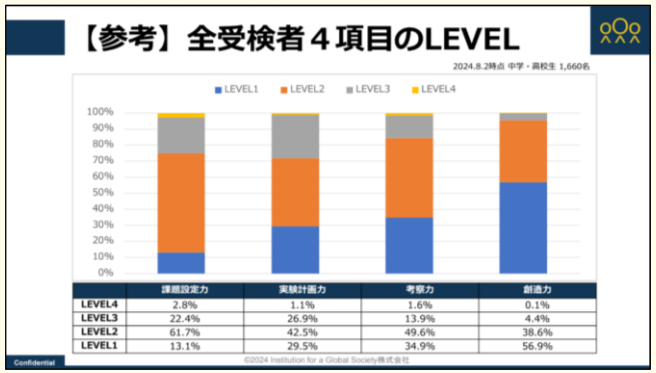
■ 探究の指導と評価の負担軽減に関するコメント

- 現在の探究プログラムの内容が本校が伸ばしたいと考える資質・能力と合っているかを確認するために利用。合っていないようであれば、次年度のプログラム改定に向けて動き出そうと思っている。（公立 高校）
- 特に負担が大きく、従来のテストでは見取ることが難しい主体性や協働性の評価に用いる予定です。（私立 高校）
- 探究によって身に付いた資質や能力について、適切かつ効果的に評価につなげることができる。（公立 高校）
- 探究活動の成果や指導支援の結果について数値を見ながら議論し、次年度に向けた改善を検討できる。（公立 高校）
- 探究の活動中の様子と非認知的能力の評価データを比べながら評価できることで、評価の信憑性が上がる。（公立 中学校）
- 「数理探究アセスメント」は「総合的な探究の時間」の教材開発や評価、指導の負担軽減に大きく貢献する。（公立 高校）

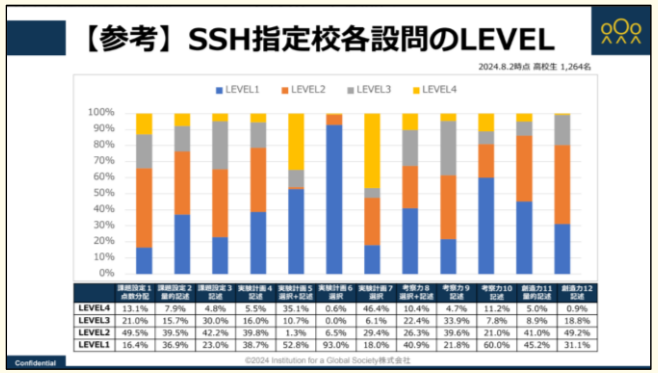
探究の評価を校内の相対評価にとどめず他校と横比較することも可能



	課題設定1 点数分配	課題設定2 量的記述	課題設定3 記述	実験計画4 記述	実験計画5 選択+記述	実験計画6 選択	実験計画7 選択	考察力8 選択+記述	考察力9 記述	考察力10 記述	創造力11 量的記述	創造力12 記述
LEVEL4	16.7%	2.4%	2.4%	11.9%	33.3%	2.4%	42.9%	31.0%	50.0%	21.4%	7.1%	7.1%
LEVEL3	9.5%	16.7%	21.4%	11.9%	14.3%	0.0%	2.4%	31.0%	11.9%	2.4%	7.1%	7.1%
LEVEL2	47.6%	54.8%	59.5%	50.0%	2.4%	7.1%	40.5%	31.0%	28.6%	33.3%	40.5%	52.4%
LEVEL1	26.2%	26.2%	16.7%	26.2%	50.0%	90.5%	14.3%	7.1%	9.5%	42.9%	45.2%	33.3%



	課題設定力	実験計画力	考察力	創造力
LEVEL4	2.8%	1.1%	1.6%	0.1%
LEVEL3	22.4%	26.9%	13.9%	4.4%
LEVEL2	61.7%	42.5%	49.6%	38.6%
LEVEL1	13.1%	29.5%	34.9%	56.9%



	課題設定1 点数分配	課題設定2 量的記述	課題設定3 記述	実験計画4 記述	実験計画5 選択+記述	実験計画6 選択	実験計画7 選択	考察力8 選択+記述	考察力9 記述	考察力10 記述	創造力11 量的記述	創造力12 記述
LEVEL4	13.1%	7.9%	4.8%	5.5%	35.1%	0.6%	46.4%	10.4%	4.7%	11.2%	5.0%	0.9%
LEVEL3	21.0%	15.7%	30.0%	16.0%	10.7%	0.0%	6.1%	22.4%	33.9%	7.8%	8.9%	18.8%
LEVEL2	49.5%	39.5%	42.2%	39.8%	1.3%	6.5%	29.4%	26.3%	39.6%	21.0%	41.0%	49.2%
LEVEL1	16.4%	36.9%	23.0%	38.7%	52.8%	93.0%	18.0%	40.9%	21.8%	60.0%	45.2%	31.1%

出展：「働き方改革支援補助金2024」に関するアンケート（ ① 対象：申請校60校の先生　② 有効回答数：58件（回答率 96.7%）　③ 実施時期：2024年12月９日～2024年12月23日　④ 実施方法： Google Forms ）

■ キャリア教育の負担軽減に関するコメント

- 客観的な見解が加わり、総合型選抜入試などの受験資料として志望校を決定する上での判断材料の一つになる。（公立 高校）
- 本当に向いている進路や潜在的な能力を見つけることに有効だと考えています。（私立 高校）
- 児童の強みを理解した上で負担を軽減しながらキャリア教育を行うことができる。（公立 小学校）
- 個々の能力や資質について客観的に把握でき、志望理由書の作成や自己PRの準備などに活用できる。（公立 高校）
- 生徒が自身の非認知能力を理解することができるので、面接などで自分の強みを他者に表現できる。（公立 中学校）
- 進路に迷っている生徒に対する声掛けの材料や、高３で志望理由書や推薦書を記述する際の要素になる。（公立 高校）
- 生徒の「そのとき」だけではなく、根底にある力も把握した上でキャリア教育を推進できる。（公立 高校）

無理のないステップで説得力と独自性のある志望理由書の作成が可能

通常の個人レポートの他、志望理由書の作成を見据えたキャリア教育に特化したワークシート付きのレポートも用意しています。自身の強みを生かせる、もしくは同じ強みをもつ人が活躍する学部・学科や職種を確認できる他、可能性をさらに広げるために伸ばすとよい能力とその伸ばし方も確認可能。ワークシートは、学年や習熟段階に応じて以下の３パターンを用意しています。

① **自分発見編**：中学～高校１年での活用を想定。
② **強みや興味深掘り編**：中学３年後半～高校２年での活用を想定。
③ **志望理由書/エントリーシート準備編**：高校２年後半～高校３年での活用を想定。

出展：「働き方改革支援補助金2024」に関するアンケート（ ① 対象：申請校60校の先生　② 有効回答数：58件（回答率 96.7%）　③ 実施時期：2024年12月９日～2024年12月23日　④ 実施方法： Google Forms ）

■「働き方改革支援補助金」事業、経済産業省や国の教育支援施策について

- おかげさまで新たなサービスを試すことができ、学園のさらなる発展の一助となりました。（私立 高校）
- このようなアセスメントとコンテンツを無料で実施できてよかった。校内でエビデンス（数値）を用いて議論する風土はなく、試験的に導入できたことは良かった。今後、より良い活用ができると思います。（公立 高校）
- お試し期間として国が導入費用を補助してくれるのはありがたい。現在、さまざまなEdTechサービスが世の中に出回っているものの、紙の教材と違って一度試してみないとイメージがなかなか浮かばないので。（私立 中学校）
- 本事業のおかげで「Ai GROW」と出会うことができました。学校現場にとって大変有益な事業です。（公立 高校）
- 貴重な機会をありがとうございました。探究力の測定法を開発してくださったことに厚く感謝します。（公立 高校）

単年度の支援では準備や予算捻出に向けた検証・調整時間が不足。継続的な支援やソフト面以外への支援を求める声も

- 特に公立校は受益者負担に大きなハードルがあります。補助金は複数年度になる学校も含め意欲ある学校に認めてほしいです。（公立 中学）
- 教職員の業務削減や効率化をより一層推進するために、単年度ではなく持続的な事業としてぜひ予算化をお願いしたいです。（公立 小学校）
- 採択決定が遅れると６月以降になってしまうため、年間計画を大きく変更しなければならなくなってしまいます。申請から交付決定までの流れを早くしていただくか、募集時期を早めてもらうことができればありがたいです。（公立 高校）
- 外部委託できる仕事内容について整理のうえ、業務効率化を進める支援もお願いしたいです。（国立 高校）
- ハードやソフト面の支援だけではなく、学校現場での人材確保に必要な分配金も増やしていただきたいです。（公立 高校）

本補助事業の予算化にご尽力くださった経済産業省の皆さま、事業期間中にご支援くださった事務局の皆さまにこの場をお借りして御礼申し上げます。また、数多くあるサービスの中から弊社のサービスをお選びいただき、本補助事業にご協力くださったすべての申請校の先生方とその先にいらっしゃる生徒の皆さまに改めて心から御礼申し上げます（IGS株式会社 スタッフ一同）

Inst. Global Society

社　　名	Institution for a Global Society 株式会社
設　　立	2010年５月
代　　表	中里 忍（代表取締役社長 COO）
資 本 金	50百万円（2024年９月末日現在）
オフィス	東京都渋谷区恵比寿南１-11-２ ４階
従業員数	53名（2024年９月末日現在）
上場市場	グロース市場（東証マザーズ）

ISO27001:2013 認証取得

21004769(01)

主な学校教育機関向けサービス

AiGROW　数理探究アセスメント　探究Navigator

社会実装 シミュレーション型プログラム　GROW Academy（グローアカデミー）　e-Spire

Purpose

分断なき持続的な社会を実現するための手段を提供する。

Vision

人を幸せにする評価と教育で、幸せを作る人、をつくる。

人にとって正しく評価されるということは自己肯定の種であり、その種は一生育ち続けます。自己肯定は自己成長の源泉です。自分を肯定できる。それを励みにもっと成長する。そんな人が増えればきっと、世の中はもっとハッピーになると信じています。IGSは、ビジョンとテクノロジーで、評価と教育の未来を切り開いていく会社です。

お問い合わせ・資料請求、各サービスの詳細

03-6447-7151（平日 10:00～18:00）

edtech@i-globalsociety.com

AiGROW▶

数理探究アセスメント▶